



日本モンゴル文化学会

国際シンポジウム

日本モンゴル文化学会 国際シンポジウム (2023)

『グローバル化とモンゴル文化研究の新たな展開』

時間： 2023年12月16日(土曜日) 11:00~17:00
場所： 神奈川大学 3号館201号室(2階)
開会の辞：T.アルタンバガナ(会長) 11:00~11:05

第1セッション 建築・民俗・人類学

司会：包サラ(東北大学)

サリントヤ(北海道大学文学院・文化人類学・博士後期課程) 11:05~11:30
「モンゴル遊牧社会における人間と馬の関係
—競走馬に歌う歌「Gingoo」を事例に—

エンケホルワ(八戸工業高等専門学校・環境都市・建築デザインコース・助教)
阿部 和暁(八戸工業高等専門学校・環境都市・建築デザインコース・5年生) 11:30~11:55
「内モンゴル仏教寺院建築に関する研究
—無量寺大雄宝殿の架構形式と断面計画について—

ホホスルーテ(神奈川大学、歴史民俗資料学科・博士前期課程) 11:55~12:20
「内モンゴル牧畜民の移動住居(ゲル)に関する研究
—内モンゴル四子王旗を事例として—

○ランチタイム Lunch time (12:20~13:30)

第2セッション 文芸・歴史学

司会：T.アルタンバガナ(千葉大学)

池田 健雄(千葉大学大学院・人文公共学府・特別研究員) 13:30~13:55
「内モンゴル自治区通遼の歴史」

サラントヤ(東京大学大学院総合文化研究科・博士後期課程) 13:55~14:20
「五族共和」とモンゴルの行方
—民国初期の内モンゴル・エリート層の言説をめぐって—

第3セッション 言語・教育学

司会：包格根（新潟大学）

T.Саранчимэг（モンゴル国管理アカデミー・人事管理学科・副教授） 14：20～14：45
「モンゴル語と文字の変遷及び教育方法」

Chimedseereng（城吉一徳・独立研究者） 14：45～15：10
「モンゴル諸語統一表記実例検証」

○コーヒーブレイク coffee break（15：10～15：20）

第4セッション 宗教・儀礼・グローバル化 司会：サインホビト（神奈川大学）

朝克（東京外国語大学大学院・総合国際学研究院・特別研究員） 15：20～15：45
「スンス・ドーダホ儀礼の臨床人類学的研究」

嘉藤 恵（特定非営利活動法人平泉会・審査員・理事・独立研究者） 15：45～16：10
「内モンゴルシャマンのグローバル化に関する研究」

T.アルタンバガナ（千葉大学大学院・人文公共学府・特別研究員） 16：10～16：35
「グローバル化とモンゴルのブランドに関する考察
—モンゴルのファッション—を事例に—」

総括・閉会の辞：サインホビト（理事） 16：35～17：00

参加方法：対面の会場参加とオンライン参加の両方です。オンライン参加者は2023年12月15日の17時まで学会のメールにてご連絡ください。Email: mglculture@yahoo.co.jp



場所の案内：【横浜キャンパス】

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」から徒歩13分

懇親会：当日決定（神奈川大学付近・約5000円）

